

2022年11月01日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【11月も、RBAは0.25%の利上げ】&【今日明日はFOMC】

RBA(オーストラリア準備銀行=豪州中銀)は、本日(2022年11月1日)のRBA理事会で、政策金利を0.25%引き上げる、と決定した。

オーストラリアの政策金利は、2.60%から、0.25%引き上げられて、2.85%になる。

この0.25%の利上げは、マーケット(外国為替市場)の事前予想通り。

サプライズは無い。

+++++

前回(10月)のRBA理事会では、0.25%の利上げを予想する向きと、0.50%の利上げを予想する向きが、半々程度であった。

そして、前回(10月)のRBA理事会での利上げは、0.25%であった。

つまり、大幅な利上げを、一度に敢行するのではなく、小幅な利上げをステップ・バイ・ステップに(=少しずつ、順次に)、実施するスタンスを示した、と考えます。

だから、本日(2022年11月1日)のRBA理事会の利上げの予想が、0.25%に集約されたのだ、と考えます。

+++++

+++++

ただし、今回(11月)の0.25%の利上げでも、オーストラリアのインフレを鎮静化するには不十分である、と考えます。

RBAも、そのことは十分に承知の上で、小幅な利上げを段階的に実施している訳で、RBAは、「今後さらなる利上げを見込む」と述べています。

つまり、オーストラリアの利上げは、まだまだ続きます。

+++++

+++++

自国のインフレに対抗するために、強い姿勢で利上げを推し進めている米国(FRB)や、

ECB（欧州中銀）と比べると、今回のRBAの0.25%の利上げは、小幅に映る、と考えます。

そのため、豪ドルは対米ドルで「売り圧力」を受けることになる、と考えます。

つまり、マーケット（外国為替市場）は、「豪ドル売り米ドル買い」に動き易い、と考えます。

同様に、豪ドルは対ユーロで「売り圧力」を受けることになる、と考えます。

つまり、マーケット（外国為替市場）は、「ユーロ買い豪ドル売り」に動き易い、と考えます。

++++  
++++

今日明日（2022年11月1日、2日）に、FOMC（公開市場委員会）が開かれます。

米国の政策金利は、明日（2022年11月2日）、発表されます。

米ドルの政策金利は、0.75%の利上げが予想されています。

++++

豪ドルの対米ドルに関しては、既に述べた通り。

++++  
++++

日本に目を向けてみると、先週末（2022年10月28日）、日銀の金融政策決定会合で、大規模な金融緩和策の継続を決定した。

だから、今日明日（2022年11月1日、2日）のFOMCで、日米金利差が拡大することが、確実視されています。

日米金利差の拡大は、「ドル買い円売り」の根拠になる、と考えます。

++++

（2022年11月01日東京時間13:35記述）